



令和6年度 学校だより

# つなぐ

翠輝学園 つくば市立  
みどりの南小学校  
第21号  
発行日 R6. 8. 29

## 漢字がうまく書けない… 教員研修「読み書きの困難さに関して」

子供たちにとっての夏休みは、教職員にとっては貴重な研修の期間となり、多くの研修が行われています。講師を招聘したり、オンライン視聴をしたり、出張したりしながら、様々な分野の研修を行っています。今回はそれらの研修から一部を紹介いたします。

去る7月26日(金)には、筑波大学の三盃(さんばい)先生をお招きし「『読み書き』に困難さを抱える子どもの理解と対応」についての講義を受けました。

日本の小学生は、ひらがな、カタカナ、漢字の3種類を同時並行で習うので大変だと言われます(さらに3年からは英語も)。特に漢字については、ひらがな・カタカナと比べると読み方が複数あるだけでなく、同音異義語が多く、画数も多く、かなり難度が高いものがあります。読み書きが苦手な子の中には、知的発達に遅れはなくても、読み書きに著しい困難を感じる場合があり、漢字のお手本がすぐ横にあるのに、その字をうまく書き写すことができないこともあるそうです。何回も繰り返し書く等の努力だけではうまくいかないこともあり、読み書きが苦手な子にとっては、毎日、その辛さを抱えながら学んでいることとなります。

そこで、一人残らず全ての子が安心して学べるようにしていくため、まず教員が「読み書きの困難」についての正しく理解する必要があり、今回、研修を行いました。今後、さらにチームサポート(特別支援)の先生方を中心に、困っている子の状況を正しく把握し、適切な手立てを検討してまいります。

保護者の皆様には、ご家庭で気になることがございましたら、各担任等の教職員にご相談いただければ幸いです。(「読み書き」以外にも「聞く」「話す」「計算する」「推論する」といった学習に必要な基礎的な能力において、なかなか習得できなかったり、うまく発揮することができなかったりすることで、学習上、さまざまな困難に直面している場合もあります。)



※本校は、筑波大学「小学生の漢字の読み処理に関する調査」の研究に協力する予定です。今後、児童の学習に支障のない範囲で調査に協力するとともに、特に国語や漢字指導のための専門的な助言をいただく予定です。後日、保護者の皆様には調査内容や同意等についてお知らせいたします。

## みなみトピックス これまでの話題から

### 【子供たちのボランティアに感謝 校門付近の草抜きをしてくださいました】

8月28日(水)午前、学童のクラブの子供たちがボランティア活動として、本校体育館東側の校門付近までの草抜きをしてくださいました。20名の子供たちが楽しみながら一生懸命に頑張ってくれたおかげで、1時間弱の時間で大変きれいになりました。最後に、頑張ってくれた子供たちに、校長からお礼の言葉がありました。本校の児童を含む、参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました!

初めての夏を迎えましたが、周囲は夏草に覆われてしまいました。開校当初、ツツジ等の植栽に囲まれ、落ち着いた景観でしたが、現在は草原に。この状況は市役所に報告し、現在対応を相談しています。学校も、先日管理職が校門前の花壇の除草を行い、カバープランツの植栽を試行しました。児童館付近は特に繁茂が著しく、今後、持続可能な対策を検討していかなければならないと考えています。

